

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24231
事業名	公共交通ネットワーク確保対策費					
評価担当課	所 属	政)総合交通計 都市交通課			電話番号	011-211-2492
施策名	四季を通じて、誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成			○ その他		

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	コロナ禍を経た公共交通利用者の減少や、バス運転手不足の深刻化等により、路線バスを取り巻く環境は悪化しており、市民生活にとって不可欠な公共交通ネットワーク(NW)の維持を図る必要がある。
	事業内容(何を実施し)	①令和6年秋頃の地域公共交通計画策定に向け、交通事業者や利用者代表等を構成員とする協議会による協議を実施 ②赤字バス路線に対する補助制度の運用 ③デマンド型交通の導入等、地域特性に応じた生活交通のあり方検討 ④公共交通の利用を促進するため、小学生へ「公共交通」を題材とした学習資料を配布
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民の生活交通を確保するため、持続可能な公共交通NWを構築する。
	他都市の状況	地域公共交通計画の策定や、市内の生活交通として必要なバス路線を維持するためのバス事業者に対する補助金、デマンド交通等の導入は、多くの自治体で実施されている。 また、仙台市では、公共交通利用促進のため、小学生や新たに仙台で生活を始める大学生、転入者に対し、様々な施策を推進している。
	市民参加の実施	■ 企画 ■ 実施 □ 評価 ■ 対象外

令和4年度決算額	1,576,027 千円	うち特定財源	306,526 千円	正規職員業務量	4.5 人工
令和5年度予算額	1,619,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	5.65 人工
令和5年度決算額	1,670,614 千円	うち特定財源	685,105 千円	正規職員業務量	5.65 人工
令和6年度予算額	1,964,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	5.65 人工

指標	アウトプット活動指標1	デマンド交通実証実験				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		実証実験開始	実証実験継続	実証実験継続	実証実験継続	本格運行移行	本格運行継続
	↓						
	アウトカム成果指標1	新たな公共交通空白地の発生を伴う路線廃止系統数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0	0	0	0	0	0
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度においては、公共交通空白地(※)の発生を伴う路線廃止は行われなかった。※乗合バス路線維持対策要綱の要件に則り路線の維持が必要と判断されたにもかかわらず、廃止後に代替交通が導入されなかった地域。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2	市内路線バスの利用者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		23.5万人	23.5万人	24.5万人	23.5万人	23.5万人	23.5万人
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	運転手不足が深刻化する中においても、利便性の低下を最低限にしながらの減便・路線集約等を行い、また利用促進策を実施することでバス利用者数を維持する。					

今年度の見直し内容	路線バス運転手確保に向けた取組を新たに実施。
来年度以降の方向性	バス路線維持補助制度について、コロナ禍以降の実情に即した制度への見直しを行った上で運用を継続する。併せて、地域住民が主体となって地域交通を導入する取組の支援策の整備や、バス運転手確保に向けた取組を継続する。